



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社イメージ・マジック 上場取引所 東  
 コード番号 7793 URL <https://imagemagic.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 栗原 俊幸 TEL 03(6825)7510  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年12月期第1四半期の業績 (2026年1月1日～2026年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	2,283	22.9	△41	—	△39	—	△30	—
2025年12月期第1四半期	1,858	22.9	△3	—	△3	—	△24	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△12.06	—
2025年12月期第1四半期	△10.14	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	3,299	1,895	57.5
2025年12月期	3,508	2,055	58.6

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 1,895百万円 2025年12月期 2,055百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2026年12月期	—				
2026年12月期 (予想)		0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年12月期の業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	13.8	650	16.9	650	16.4	440	33.4	175.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	2,572,235株	2025年12月期	2,572,235株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	88,656株	2025年12月期	60,056株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	2,501,739株	2025年12月期1Q	2,387,842株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当社は、「個性と創造性溢れる豊かな社会作りに貢献します。」を経営理念とし、先端AI技術と独自のシステム・ハードウェアを融合させた「オンデマンド製造の自動化プラットフォーム」を展開する企業として事業を推進しております。

当社の展開するサービスは、インターネットを通じたアパレル・雑貨へのオンデマンドプリントサービス、およびAIによる自動最適化ワークフローを組み込んだソリューションサービス（ソフトウェア・ハードウェア提供）であります。これらを実現するため、画像生成AIを活用したデザイン支援や、AIカメラによる検品・生産工程の自律制御システムの開発を加速させ、人手不足に対応した「止まらない工場徹底した省人化と、ミスを未然に防ぐ製造フローのDX」を推進しております。また、オンデマンド生産の徹底による「必要なものを、必要な時に、必要な分だけ」作る仕組みは、過剰在庫を排除し、SDGsの観点からも環境負荷低減に直結しております。

当社が属するオンデマンドプリント業界では、顧客ニーズは「短納期」や「パーソナライズの深化」への傾向が益々強まっております。特に、ファンコミュニティにおける「推し活」関連需要は、生成AI技術によって生み出される多様なコンテンツとの相乗効果により、さらなる市場拡大を見せております。当社はこれらの変化を捉え、AIとハードウェアの高度な連携により、多品種・極小ロット生産における圧倒的な競争優位性を構築してまいります。

このような環境の中、オンデマンドプリントサービスでは、様々な顧客ニーズに対応し、オンデマンド生産できるアイテムを拡充すべく新商品の取扱いを強化し、自社ECサイトの「オリジナルプリント.jp」が好調に推移しました。ソリューションサービスではハードウェアの消耗品売上高が好調を維持しました

当第1四半期累計期間において、オンデマンドプリントサービスの売上高は2,049,222千円（前年同期比19.9%増）となりました。

また、ソリューションサービスの売上高は233,842千円（前年同期比57.1%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,283,065千円（前年同期比22.9%増）、営業損失は41,121千円（前年同期は営業損失3,889千円）、経常損失は39,523千円（前年同期は経常損失3,307千円）、四半期純損失は30,177千円（前年同期は四半期純損失24,218千円）となりました。

なお、当社はオンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

### （2）財政状態に関する説明

#### （流動資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,962,462千円となり、前事業年度末と比較して293,528千円の減少となりました。これは主に売掛金の増加165,059千円があったものの、現金及び預金の減少536,539千円によるものであります。

#### （固定資産）

当第1四半期会計期間末における固定資産は1,336,657千円となり、前事業年度末と比較して84,426千円の増加となりました。これは主に有形固定資産の増加69,608千円、投資その他の資産の増加17,878千円によるものであります。

#### （流動負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,259,873千円となり、前事業年度末と比較して31,686千円の減少となりました。これは主に短期借入金の増加200,000千円、買掛金の増加61,780千円、賞与引当金の増加35,510千円があったものの、未払法人税等の減少98,858千円、賞与の支給等に伴うその他の減少223,999千円によるものであります。

#### （固定負債）

当第1四半期会計期間末における固定負債は143,852千円となり、前事業年度末と比較して16,932千円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少15,650千円によるものであります。

#### （純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は1,895,393千円となり、前事業年度末と比較して160,481千円の減少となりました。これは主に自己株式の増加49,914千円、配当金の支払い80,389千円による利益剰余金の減少によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間における業績は、概ね当初計画どおり推移していることから、2026年12月期の業績予想については、2026年2月13日の「2025年12月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,167,674	631,135
売掛金	497,945	663,004
商品及び製品	186,810	205,127
仕掛品	40,799	53,753
原材料及び貯蔵品	183,188	166,767
その他	180,356	243,606
貸倒引当金	△786	△933
流動資産合計	2,255,990	1,962,462
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	354,355	348,022
機械及び装置（純額）	473,097	567,216
その他（純額）	218,610	200,432
有形固定資産合計	1,046,062	1,115,671
無形固定資産		
	52,573	49,512
投資その他の資産		
敷金及び保証金	79,758	81,973
繰延税金資産	59,545	72,456
破産更生債権等	25,225	25,225
その他	14,291	17,043
貸倒引当金	△25,225	△25,225
投資その他の資産合計	153,594	171,473
固定資産合計	1,252,230	1,336,657
資産合計	3,508,220	3,299,119
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	357,960	419,741
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	70,840	64,720
未払法人税等	107,520	8,662
賞与引当金	—	35,510
商品保証引当金	6,927	6,927
その他	748,312	524,313
流動負債合計	1,291,560	1,259,873
固定負債		
長期借入金	84,164	68,514
資産除去債務	74,755	74,912
その他	1,865	426
固定負債合計	160,785	143,852
負債合計	1,452,345	1,403,725
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	347,963	347,963
資本剰余金	522,198	522,198
利益剰余金	1,273,093	1,162,525
自己株式	△87,379	△137,294
株主資本合計	2,055,875	1,895,393
純資産合計	2,055,875	1,895,393
負債純資産合計	3,508,220	3,299,119

## (2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,858,228	2,283,065
売上原価	1,135,526	1,427,509
売上総利益	722,702	855,555
販売費及び一般管理費	726,592	896,676
営業損失(△)	△3,889	△41,121
営業外収益		
受取利息	396	1,059
受取家賃	—	639
債務勘定整理益	237	203
消費税等差額	229	344
その他	373	103
営業外収益合計	1,235	2,350
営業外費用		
支払利息	652	437
その他	1	314
営業外費用合計	654	751
経常損失(△)	△3,307	△39,523
特別損失		
固定資産除却損	2,320	513
減損損失	—	2,000
貸倒引当金繰入額	25,225	—
特別損失合計	27,546	2,513
税引前四半期純損失(△)	△30,853	△42,036
法人税等	△6,635	△11,859
四半期純損失(△)	△24,218	△30,177

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率等を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

当社は、オンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間（自 2026年1月1日 至 2026年3月31日）

当社は、オンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	57,211千円	61,640千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。